

# 東山の森だより

【第11号】

発行：なごや東山の  
森づくりの会  
発行者：滝川正子  
編集：中西たかお  
発行月：2009年6月  
(年2回発行)

## § § 里山の家と森づくり活動交流センターの行方 § §

なごや東山の森づくりの会 副代表 真弓 浩二

●2003年3月に策定された「なごや東山の森づくり」ランドデザイン(基本構想)の実現を目指して、その後「なごや東山の森づくりの会」が発足し、これまで順調に活動を継続している。この基本構想の中で、現在整備が進行しているのが平和公園南部「くらしの森」地区の「なごやの里エリア」(中道沿いの谷戸エリア)と、「交流拠点エリア」(旧清風荘跡地エリア)である。「なごやの里エリア」では、市民参加による水田・畑での耕作体験、雑木林での保全作業や炭焼き、椎茸づくりなどの里山体験活動をとおして、名古屋の里山の自然を直接体験するとともに、これら多様性豊かな自然環境を将来にわたって保全・継承していこうとするものである。これらの活動を支える施設として「里山の家」があり、休憩・案内・倉庫等の機能が配置される。また、「交流拠点エリア」には、大都市圏では日本最大級の規模(約410ha)を誇る「なごや東山の森」のビジターセンターとして、また名古屋市内で展開する森づくり活動の拠点として「森づくり活動交流センター」が計画されている。ここには、会議・研修・展示・案内・事務・収蔵等の総合的な機能が配置されることで、名古屋市を自然を体感し、学び、守り、育てる、市民協働による森づくり活動の拠点施設として期待されている。

### 千葉県立中央博物館



●博物館に隣接する生態園のオリエンテーションジョンハウス。20年前、畜産試験場跡地に造られた生態園は、房総の森に成長している。



●自然生態園内の舟田池のほとりにある野鳥観察舎

●先の市長選挙で当選した河村新市長による、東山動植物園再生事業の一時白紙凍結に伴って、現在計画の見直し作業がおこなわれており、判断が注目される。この市長選挙に先駆けて、なごや東山の森づくりの会会員でもある滝川・浜口・真弓は他の有志とともに3候補者に対し公開質問状を提出し、河村新市長から東山の森づくりに関連する事項として、以下の回答を頂いている。

(以下要旨を抜粋)

**質問** COP10を開催する名古屋市には、自然史博物館や生物多様性センターが無いが・・・

**回答** 「緑の回廊、水の回廊、風の道」の実現のためには、生物多様性を保全するための市民の行動も必要であり、学習センターとしての生物多様性センターについては、その機能を発揮できるよう、既存の敷地や施設を活用する方法を含めて検討したい。

**質問** 「安上がりの市民利用」に陥らない協働のしくみづくりについて・・・

**回答** 「主権者である市民が積極的に参加・協働している行政」においては、「安上がりの市民利



用」に陥らない協働の仕組みづくり(フルコストの保障など)をおこないます。公共サービスの決定と実施を分離して考えています。公共サービスを担うことができる力強いサードセクター形成を支援し公共サービスへの市民参加を促進していきます。サードセクター組織と行政との間で相互の自立性を尊重しつつ成果を生み出すためのサードセクター組織と行政との関係を形成するためのルールや基盤を整備していきます。

**質問** 名古屋市の緑被率は、減少し続けています。緑被率の下げ止まり政策および目標について・・・

**回答** 名古屋市の緑については、生物多様性及び地球温暖化対策の観点も含め、「緑の回廊、水の回廊、風の道」を名古屋市に創り上げていくため、緑の量だけでなく、緑の質、さらには配置に配慮して、マスタープランを作成し、その中で目標を具体化します。しかしながら、名古屋市の緑の量が減少していることは、憂慮すべき傾向です。その対策としては、公有地の緑を保全し、増加させることに加えて、緑が孤立するのではなく、企業や住宅の緑が、公有地の大きな緑をつないでいくという発想に基づいた民有地の緑（企業、住宅、神社仏閣などの緑）の保全対策も重要であると考えています。マニフェストに掲げている「緑の回廊、水の回廊、風の道」の街づくりについて、手順を踏んで、かつ、スピード感をもってマスタープランを作成し、その中で、緑の量や配置の目標を明らかにし、具体化していきたいと考えています。

### 兵庫県立人と自然の博物館



● 里山林の生き物と人の営み展示



● アクリルプレートに収められた魚類標本

● 現在市内 10 か所のため池で、市民協働による自然調査が始まった。COP10 に照準を合わせたこの調査には、昆虫・野鳥・植物・哺乳類・両生類・爬虫類・魚類・貝類等多様な分野で実績のある専門家市民、市井の研究者が参加協力している。また、300 名にのぼる市民調査員の参加を得ながら進められるもので、市民が直接身近な自然環境にふれ、調査活動を通じて深く理解し、今後の保全活動につなげていく動きでもある。2010 年のCOP10 開催に向け、これらの活動に汗を流し総意を結集する市民の想いは、「名古屋市に自然史博物館を・・・」その悲願に収束する。そしてこの夢は、自立した市民事業体（サードセクター）と行政の協働によって実現され運営されていくべきものである。

### 名古屋ため池生き物いきいき計画事業 市民調査



籠池（緑区）かいぼり



塚ノ入池（名東区）鳥類調査



## 5周年記念イベント

「なごや東山の森づくりの会」は平成16年2月に設立総会が行われ、4月に発足イベントとして平和公園南部の森でゴミ拾いを80名超の参加者を得て盛大に行いました。そして5周年となる今年とは云えば、またまたゴミ拾いでした。

日時：4月26日(日) 10:00 ~ 13:00 天候：晴れ

参加者：会員及びその家族 55名(内、子ども 8名)

場所：平和公園南部くらしの森 野良道沿い水路周辺

長靴を履き、ゴミ袋・ゴミバサミなどを持って現場へ移動。

弁当の空容器、空き缶、古タイヤ、

木材等々、ゴミの見本市の様。

皆さんが汗を流したお陰で水路はせせらぎの雰囲気を取り戻したようです。終了後は山菜の天ぷらパーティを楽しみました。



## 平成21年度総会

日時：5月23日(土) 18:30 ~ 20:55 会場：なごやボランティア・NPOセンター

確定会員数：119名 ・出席45名 ・委任状51名 計96名

「会則第9条会員の3分の1以上」の規定を満たして総会成立。

開会に当って滝川代表の挨拶があり『東山の森の中での生態系が変わりつつある。温暖化の影響とか人為的な持込みなどいろいろ考えられますが、東山の森を保全し「名古屋の自然が語り継がれていく場」として育て、行きたい』との熱い思いが語られました。市緑政土木局緑化推進課・小池課長、東山総合公園



建設整備課・高岡主幹の挨拶では、市民と行政の協働のモデルとしての「なごや東山の森づくり」について語られていました。引き続き「なごや東山の森づくり憲章」の確認と出席者全員での唱和が行われ、議長選出があって議事案件の審議が進められました。後半では、市緑政土木局緑地施設課・岡本主幹より「くらしの森・里山の家・清風荘跡地」の整備計画についての説明があり、質疑応答がおこなわれました。

## なごや東山の森づくり憲章



私たち市民は、なごや東山の森づくりを通して共生型社会の実現をめざします。東山の森は、人々に潤いを与え、生き物たちに豊かな生育環境をもたらしています。東山の森は、人と自然の生命輝く森です。私たちは、協働して森を守り育て、森と関わり、森づくりを生かし、次世代に森の大切さと素晴らしさを伝えることを目的としてここに憲章を定めます。

- 一、私たちは、東山の森の豊かな自然とともにあることを大切にします。
- 一、私たちは、森づくりを通して生活の知恵や技術を生かし、伝えます。
- 一、私たちは、協働して豊かな森づくりを進めます。



定例会

□ 1月4日(日) 10:00～14:00 天候：晴れ

場所：東山公園南部/天白溪湿地とその周辺

参加者：28名(内、子ども1名、一般1名)

内容：新年早々、どれだけの参加者が有るのか心配されましたが、快晴に恵まれ、森づくりへの思いも新たな方々の多数の参加を得て作業も捗りました。天白溪湿地では枯れ葎や雑草の刈り取り、湿地周辺の笹刈り。笹刈りを数年続けてきた成果でしょうか、湿地周辺でコバノミツバツツジの幼木が多く見られるようになりました。



冬眠を邪魔されたヒキガエル



□ 2月1日(日) 10:00～14:30 天候：晴れ

場所：平和公園南部/展望広場南西斜面

参加者：19名

内容：昨年12月の活動で整備した場所での継続作業で斜面下方に向かって繁茂するソヨゴ、ヒサカキ、カクレミノなどの常緑中低木を除去し、林床を明るくする作業でした。またこの日は「子ども東山の森づくり隊」の活動日で大人の会員と同じ場所で同じような作業を体験し、楽しそうでした。



□ 3月1日(日) 10:00～14:30 天候：晴れ

場所：東山公園南部/天白溪湿地とその周辺

参加者：35名(内、子ども3名、一般2名)

＊子ども森づくり隊隊員T.Y君、T.R君が表彰されました。

内容：前回(1/4)と同様天白溪湿地周辺での笹刈り、倒木の整理。ヒサカキ、タカノツメなど混み合っている常緑中低木の間伐などを行いました。前回の作業で確認したコバノミツバツツジが花を咲かせていました。



□ 4月5日(日) 10:00～14:30 天候：晴れ

場所：平和公園南部/第2木道東側草地など

参加者：47名(内、子ども4名、一般1名)

内容：この日は3ヶ所に分かれての作業でした。1ヶ所目は中道沿い第2木道東側の草地で大量に生育しているシンジュの実生幼木の除去と隣接地に侵入している竹の除去。2ヶ所目はキラニン通り南西斜面で枯れ松などの除去。3ヶ所目はハンノキ湿地沿いの散策路の整備でした。



□ 5月3日(日) 10:00～14:30 天候：晴れ

場所：東山公園南部・一粒荘跡地周辺

参加者：40名(内、子ども3名)

＊子ども森づくり隊隊員T.Y君、T.S君が表彰されました。

内容：一粒荘跡地斜面中段周辺での竹の除去。下段散策路沿いの草地及び湿地での草刈り、水路の整備などでした。



□ 6月7日(日) 10:00～14:00 天候：晴れ

場所：平和公園南部・中道沿い斜面の雑木林手入れ

参加者：35名(内、子ども4名 学生2名)

＊子ども森づくり隊隊員F.Kさんが表彰されました。

内容：この日は「環境デーなごや」協賛のイベントもあって新鮮で賑やかな雰囲気でした。中道沿いの雑木林の手入れと、ハンノキ湿地周辺の散策路の整備作業でした。





## 子ども東山の森づくり隊



= なごや環境大学「共育講座」として実施 =

□ 2月1日(日) 10:00～14:40 天候：晴れ

場 所：平和公園南部 「雑木林であそぼう！」

参加者：隊員 35名(保護者等同伴者28名)

これまでは竹林での作業が主でしたが、この日は森づくりの会の定例活動と同じ場所で雑木林の手入れを体験しました。ヒサカキ、カクレミノなど常緑中低木の除伐とか大人の会員が伐った木を細かくして片付けたりの木こり体験でした。昼食後は雑木林の中でいろいろなものを観察しながらハイキング。森の中のいる、におい、かたち、おと、うごき、さわったかんじ、など五感を働かせて自然を体感。途中で大人達が用意していた焼き芋をいただいて、味覚も大満足でした。



□ 5月9日(土) 10:00～15:00 天候：晴れ

場 所：東山公園南部 「冒険ハイキング！」

参加者：隊員 53名(保護者等同伴者44名)

前々日まで続いた雨で森の中の状態が心配されましたが、前日の午後からは太陽も顔を出し、当日は快晴になり絶好の散策日和に恵まれました。東山テニスセンター前集合、4班に分かれて出発。森に入って足元の柔らかな感触を楽しみながら冒険の旅へ。人間地獄と呼ばれている大崖へ到着。遠景の新緑に感動しながら崖下へ移動、崖のぼりに挑戦。ロープの助けを借りながら、それぞれに達成感を味わいました。森の中でいろいろな体験をしながら子どもたちの会話が弾み、先輩が後輩に手を貸している姿などが印象的でした。



## ため池市民調査

名古屋ため池生き物いきいき計画事業 (環境省「生物多様性保全推進支援事業」)

市内の主要なため池の本格的な水質・生物棲息状況の調査を行い、生物多様性の観点から市内ため池の現状を把握することを目的として、市民調査員を募集し調査活動を始めています。

### ・調査対象のため池(10池)

東山新池(千種区)、隼人池(昭和区)、八竜新池(守山区)、雨池(守山区)、籠池(緑区)、水広下池(緑区)、明德池(名東区)、塚ノ杵池(名東区)、荒池(天白区)、名古屋城堀(北区)

### ・市民調査員募集中!

上記それぞれの池で植物、昆虫、鳥類、甲殻類・貝類・魚類、は虫類・両生類、ほ乳類 の項目別に調査活動の出来る方を募集しています。詳しくは森づくりの会のホームページを参照ください。

[なごや東山の森づくりの会](#)

[検索](#)



## トピックス

「なごや東山の森づくりの会」が国土交通省の「手づくり郷土賞」に認定されました。

□ 3月24日(火) 10:00より 市役所西庁舎5F 理事室にて国土交通省中部地方整備局担当官より認定証が授与されました。

受賞者：なごや東山の森づくりの会

名古屋市緑政土木局緑化推進課

「手づくり郷土賞」は昭和61年度に創設され、平成20年度で23回目となる国土交通大臣表彰です。詳細はホームページで。

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/index.html>





### 歩く楽しさ



坂野 静雄

私は自動車免許を持たない。このため日常歩くことが多くそれが好きである。約2年前に仕事から解放され「なごや東山の森づくりの会」に入会した。日に1~2時間は森の中を歩いている。森を歩いていると季節によって移り変わる景色が目飛び込んでくる。特に花・若葉・紅葉などは心をうきうきさせ和ませてくれる。森づくりの会の人達と森の手入れをしているが、まだ、右も左も分らない。最近、笹や下草刈りをしている際に、落葉の下から可憐な姿を見せるスマレを先輩から教えていただき、自然のたくましさを実感した。これ以降、野辺に咲く小さな花にも視線が行くようになり、写真を撮るようになった。歩いて見える景色だけでなく足元にも素晴らしい自然があることを知り、日々、一層楽しく歩いている。これからも、自然の中に自分を感じ、楽しい歩きをしたいと思っている。



最近、笹や下草刈りをしている際に、落葉の下から可憐な姿を見せるスマレを先輩から教えていただき、自然のたくましさを実感した。これ以降、野辺に咲く小さな花にも視線が行くようになり、写真を撮るようになった。歩いて見える景色だけでなく足元にも素晴らしい自然があることを知り、日々、一層楽しく歩いている。これからも、自然の中に自分を感じ、楽しい歩きをしたいと思っている。



### 運営委員会 会員のみなさんのご参加をお待ちしております!

開催日時：毎月第3木曜日 18:30~20:55 場所：千種スポーツセンター第一会議室  
会議参加者：役員、運営委員、名古屋市、(財)名古屋市みどりの協会、その他議題関係者など。  
議題：森づくり定例会、班活動、主催事業などの企画と結果報告。各種協賛事業、受託事業の実施計画と結果報告。各種団体のフィールド訪問などの受け入れの検討。里山の家の管理運営に係わる事案の協議。協働の関係にある名古屋市の関係部署、(財)名古屋市みどりの協会との意見交換など。  
運営委員会は、会員のみなさんの自由な発言の場です。森づくりへの思いを伝える場としてご参加ください。



### 今後の活動予定



定例会：毎月第1日曜日  
7月5日 東山公園南部                      9月6日 東山公園南部                      11月1日 東山公園南部  
8月2日 平和公園南部                      10月4日 平和公園南部                      12月6日 平和公園南部  
集合場所、時間など詳細につきましては、その都度事前にメールなどで連絡致します。  
下記ホームページでも案内しており、みなさんの積極的な参加をお待ちしています。

### 子ども東山の森づくり隊

8月 1日(土) 18:00~20:30 「冒険ナイトハイキング」 東山公園南部  
11月14日(土) 10:00~14:30 「竹をきって器づくり」 東山公園南部



### ホームページを見てください!!

⇒ 当会の活動を紹介するホームページです。

定例活動の様子、子ども森づくり隊の案内、結果の報告、班活動や各種イベントの紹介、森の中で観察された花や鳥の紹介などなど内容豊富です。ぜひ検索してみてください。



自然を豊かにし、  
人生を豊かにする  
森づくり活動に  
参加しよう!

なごや東山の森づくりの会

検索



《 会員数：6月18日現在 127名 個人121名 企業6社 》  
人と自然の いのち輝く森  
「東山の森づくり」に参加しませんか!!  
年会費:2,000円 (企業:10,000円/1口以上)  
入会申込・問合せ：〔連絡幹事〕鬼頭 保  
Tel/Fax:052-751-9510  
e-mail: kito022445@mediacat.ne.jp

編集後記 「なごや東山の森づくり」は、市民・企業・行政の協働が基本理念としてありますが、その協働についての認識が、行政側の動きにブレを生じているようで気になります。  
投稿歓迎 中西たかお Tel/Fax:052-781-7530  
e-mail: ntakao33@titan.ocn.ne.jp

写真提供：友野、浜口、坂野、鬼頭、中西